



教科「家庭」の学びをコミュニティ再生に 生かす地域共創人材の育成

～地域での生活を支え、地域の賑わいを創り出す
「まちカフェ」プロジェクトへの挑戦～

千葉県立館山総合高等学校

教諭 筒井智会 吉野佳菜子





家政科



商業科



工業科



海洋科

どんな
学校？



研究概要

協働型・双方向型学習

まちかフェ

ねらい

様々な人々と協働
課題を発見・解決に導く力
生涯にわたり学び続ける力
主体的に課題に取り組む



1. 協働型・双方向型学習



プロフェッショナルからの授業



保育

千葉敬愛短期大学の先生
社会人講師の先生



被服

文化服装学院の先生
ものづくりマイスター



調理

日航ホテル東京シェフ
ものづくりマイスター

その他

千葉科学大学の先生：防災
ジビエBBQ講座

知識や技術の向上
生活産業の魅力に気付く・将来像へ影響

他学年との授業



先輩との違いは
何だろう？

何に困ってい
るんだろう

来年は自分もで
きるように…

一緒に参加したら
わかりやすい！

**下級生：到達点のイメージ
質問しやすい**

**上級生：説明方法の検討
自身の技術向上**

地域の方との協働学習

1. 協働型・双方向型学習 + α



熱い大人の刺激

魅力

課題

魅力を発信したい

課題を解決したい

他学科との授業

1. 協働型・双方向型学習 + α



工業科：かまどベンチ
ソーラーランタン



海洋科：カツオの食べるラー油
アマモ再生活動

県外高校生との交流

1. 協働型・双方向型学習 + α



福島合宿：
福島県立小高産業技術高校



Zoom会議



防災ジュニアリーダー育成合宿
東日本大震災メモリアルday



産業教育フェア新潟

考えの深まり

アドバイス

継続した繋がり



2. まちカフェの実践(1年目)



校内カフェ



親子料理
教室

地元料理
開発

ストレッチ
教室

防災講座

地域の
伝統技術

館山総合高校
校内カフェ

11月30日 10:00~12:00

親子料理教室 親子で一緒に料理を学ぶ機会をもち、食生活の大切さを学びます。	ストレッチ教室 講師：石川 先生 ストレッチの重要性を学び、正しいストレッチ方法を学びます。	地元料理開発 地元産食材を使用したオリジナル料理を開発します。
防災講座 防災意識を高め、災害時の対応方法を学びます。	地域の伝統技術 地域の伝統技術を学び、体験します。	11月30日 10:00~12:00

千葉県立館山総合高等学校

ビーチマーケットに参加

大盛況



幅広い年代の方と交流



地域の困りごとを解決したい

ジビエ BBQ

地元食材
ケーキ

防災リュック

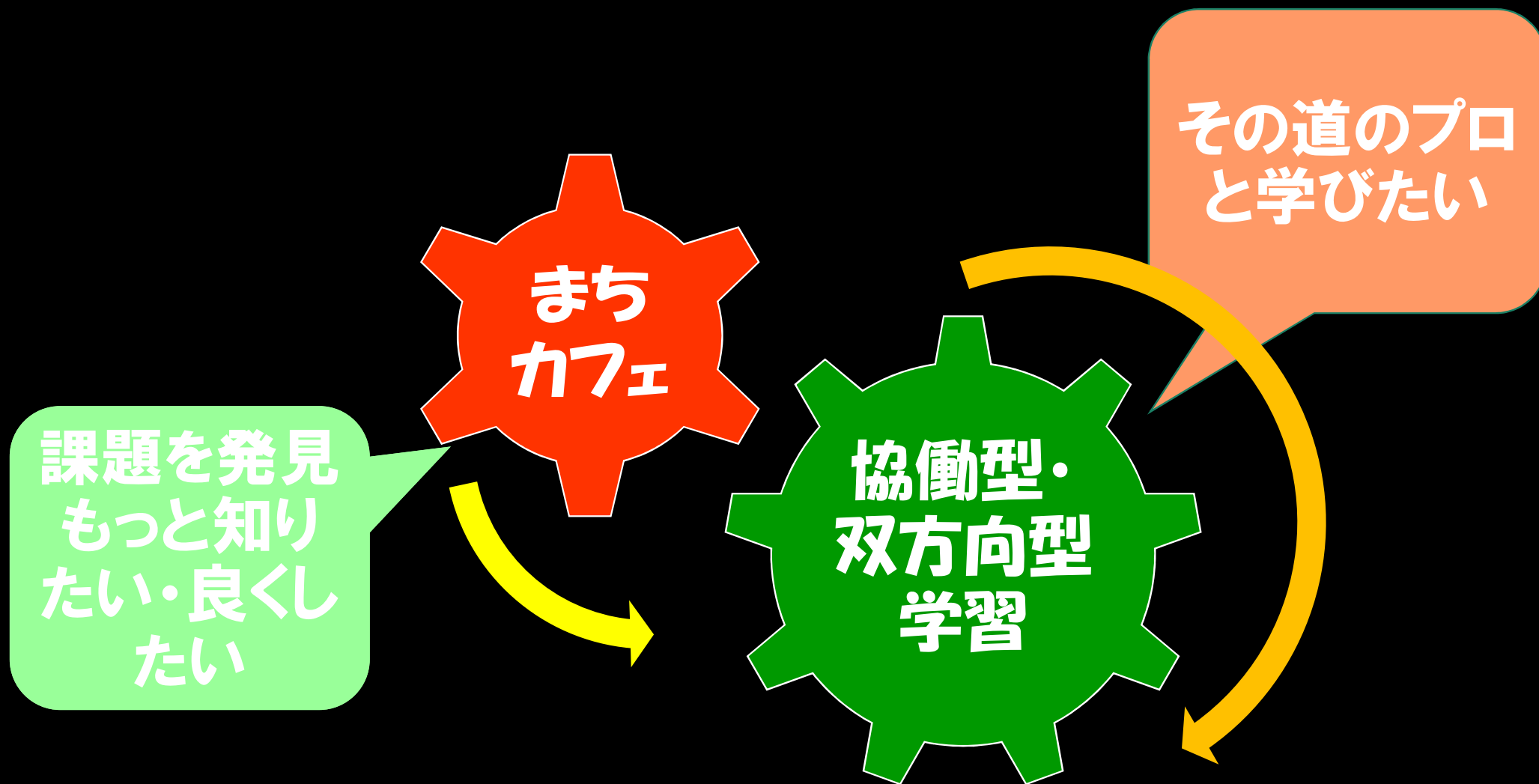


協働型・双方向型学習

その道のプロと学びたい

まちカフェ

課題を発見
もっと知りたい・
良くしたい



館山総合高校
SPH プログラム

行動

まちカフェで
販売 発信
ポスターセッション

探究活動(課題研究)
計画 → 実行 → 評価

改善

課題発見

評価

ループリック
学びの足跡

身につけた
知識・技術
～協働型双方向型学習

改善

課題発見





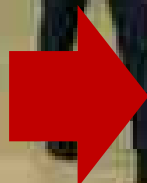
3. 協働型・双方向型学習（発展型）



得意分野



専門



強みを生かした新たな活動

プロフェッショナル

3. 協働型・双方向型学習(発展型)

様々な人との協働により知識や技術の深化、意欲の向上
それぞれの「強み」を生かし新しい活動の提案



ファッションショー、駅展示



パペット創作劇

海洋科



コンテスト参加



環境問題を創作劇に

県外の高校生・大人

3. 協働型・双方向型学習(発展型)



コラボ商品開発、販売



館山魅力発見！
交流会開催



台風ボランティア

学科融合(1年総合的な探究の時間)



学科融合

(1年総合的な探究の時間)



他学年

(3年家政科)





4. まちかづきの実践 + α



校内カフェの実践



台風→減災企画



パッククッキング
防災ダンス・ストレッチ
防災運動会
防災クイズ
ハーブティー休憩

スタンプラリー

高校生が高齢者の事を
考えてくれて
元気が出ます

家で防災のことを
子どもが楽しそうに
話してくれます

期待

まちカフェの実践

様々な魅力を発信！

福島×館山×家政科

地元企業×家政科

海洋科×家政科

パウンドケーキ
お総菜販売

地域企業コラボ
ピーナツパイ

海洋科
かつおの食べるラー油

防災・減災発表



県外高校生×家政科



幼児コーナー

ハンドマッサージ



地域人材×家政科



ワークショップ

工業科かまどベンチ



他学科×家政科



商業科館山検定

4. まちカフェの実践+α



販売
ピタパン・パウンドケーキ



展示
エコバック・マスク



ワークショップ
DIG(災害想定ゲーム)



発表
観光案内所・避難所運営
あいご井

つねカフェで定期開催！！



つねカフェ

3日間

11月6、20、27日

エコバックは
作れる！
環境◎



宣伝方法工夫

ただ売る
↓
メッセージを届ける

今後は…
月1開催



5. 減災WEEK



教員も

協働型・双方向型学習

のきっかけになれば...

減災week

9/14(月)~18(金)

同じテーマでそれぞれの「強み」を活かし授業を展開。
学んだ生徒は、関連付け視野が広がる。新しい価値が生まれる。

【工業科】

- フェイスシールド制作
- 化学で海水から飲み水作り
- 発電機の操作

【海洋科】

- 津波と波浪の違い
- 災害用缶詰パンづくり
- 火災訓練（船走行時）
- 停電時の養殖魚

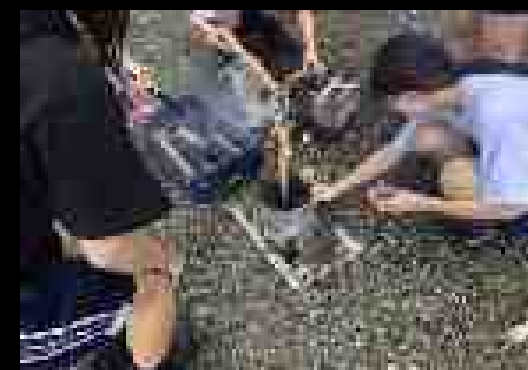


【商業科】

- 災害お役立ちサイト作り
- 防災対策動画作成
- 防災行事ポスター制作

【家政科】

- 体熱ピザ作り
⇒神港橋高校ソーラークッカー
- 1000人炊き出し鍋レシピ考案
- パッククッキング



【数学科】

- マグニチュードの強さ
- 震源地と地震の速さ

【理科】

- 台風発生メカニズム
- 地震発生の仕組み

【社会科】

- 房総半島の災害史

【英語科】

- 災害時に役立つ英会話

【芸術】

- 防災川柳からアート
- 感染症対策ミュージックを作ろう

【体育科】

- 外での身の安全の守り方

【国語科】

- 防災川柳を考える



6. 自己評価力を高める学習

評価規準を考えます

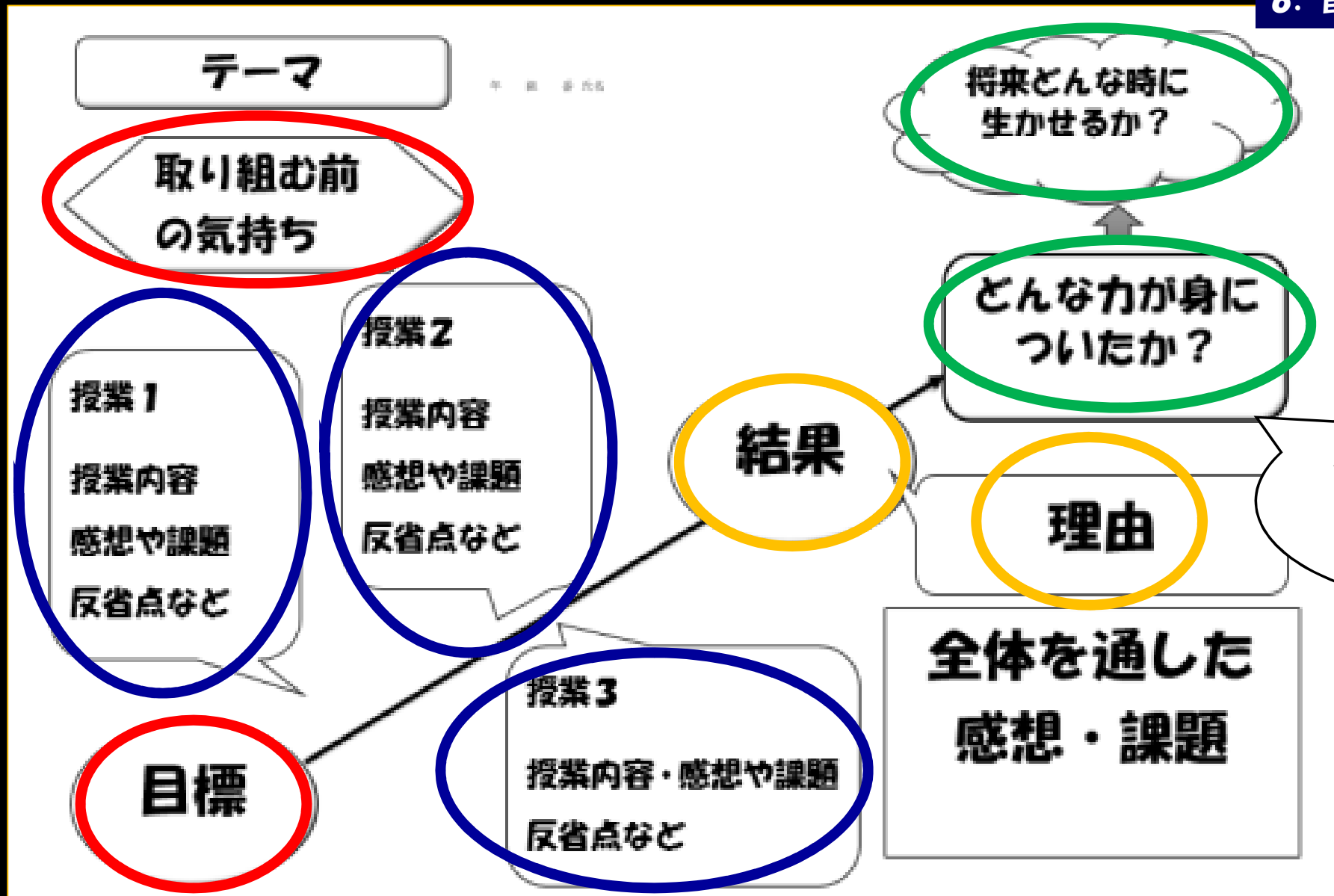
先輩を見てイメージしました

評価	S	A+	A	B	C
声の大きさ	相手を紙芝居の世界に引き込むように役柄や状況に合わせて工夫した強弱をしている	役柄や状況に合わせて工夫した強弱をしている	役柄や状況に合わせて強弱をしている	聞き手に聞こえる声の大きさである	声が小さく聞こえない
速さ・間	相手を紙芝居の世界に引き込むように役柄や状況に合わせて工夫した速さや間である	役柄や状況に合わせて工夫した速さや間である	速さの変化を出している	一定の速さでつますかずに読める	つますかす、速すぎたり、遅すぎたりしない
感情・役	相手を紙芝居の世界に引き込むように役に入り込んでいる 場面に合わせた発声	役に入り込んでいる 場面に合わせた発声	ちょっと恥ずかしがりながら役を演じ分けている	役を分けているが感情がわかりづらい	棒読みで抑揚がない
抜き・動かす	相手の様子を見ながら、場面に合わせて抜いたり動かしたりしている	場面に合わせて抜いたり動かしたりしている	たまに場面にあった抜きや動きをしている	間の感覚があと一歩	ただ抜いているだけ

ポイントやゴールが明確化



自主的に！



振り返り～学びの足跡 ⇒ 目的を意識、身についた力の 認識、新たな課題の発見

行動力 計画力 提案する力

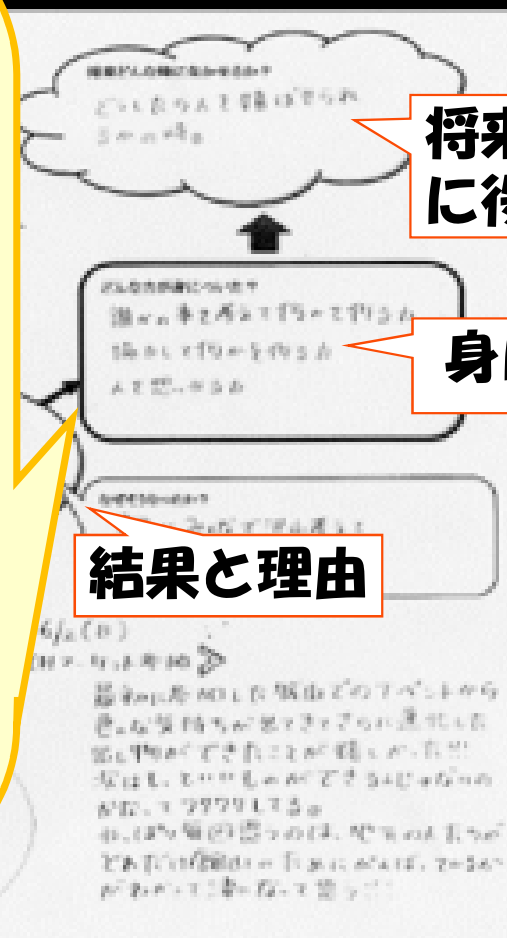
誰かの事を考えて何かを作る力

協力して何かを作る力

人を思いやる力

柔軟な対応力

粘り強く諦めない力



将来どのよう
に役立つか

身についた力

結果と理由



7. アンケート調査・分析



3年アンケート調査 (R2.12.10)



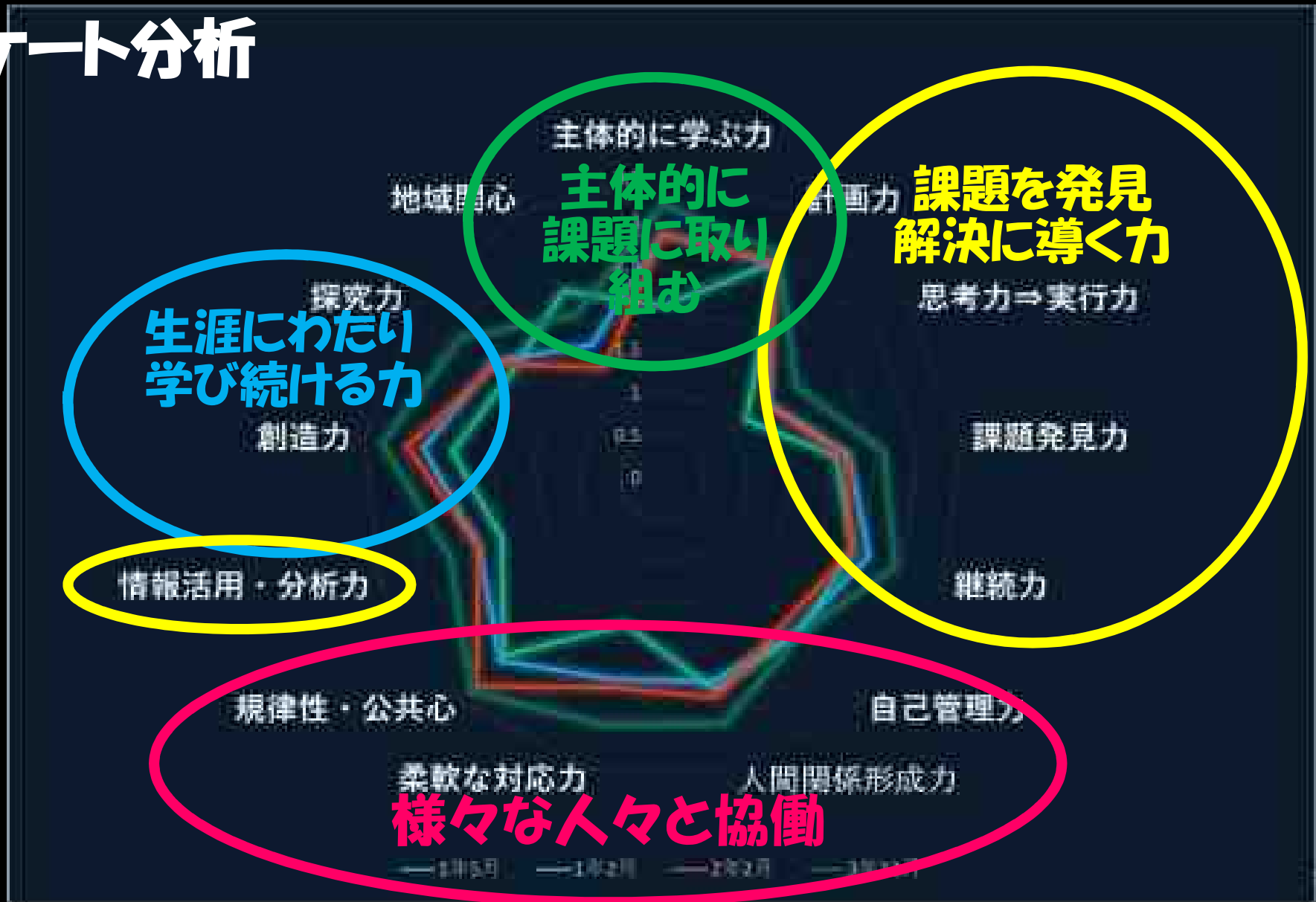
探究活動により、主体性、学習意欲、社会性、課題解決力が育まれる。

- 学校内外による協働学習やポスターセッションを実施することで、思考・判断・表現力が醸成される。

- 自分の意見を他者に表現する。

⇒自信がついた

アンケート分析



卒業生にインタビュー調査 (R2.12.8)

率先してボランティア活動に参加出来る

物怖じしないで自分の意見をハッキリ伝えられる

美容系専門学生 田村琉希さん



卒業生にインタビュー調査 (R2.12.8)



会社内で提案とかアイデア
とかを出す時

男性中心の職場ならではの困
いごとが…更衣の場所問題
を提示しました

日本製鉄環境(株) 戸高実咲さん

卒業生にインタビュー調査 (R2.12.8)

ボランティア活動
があれば率先して
参加した

清和短大
永名彩聖さん

人前で話すことに前より
抵抗がなくなった

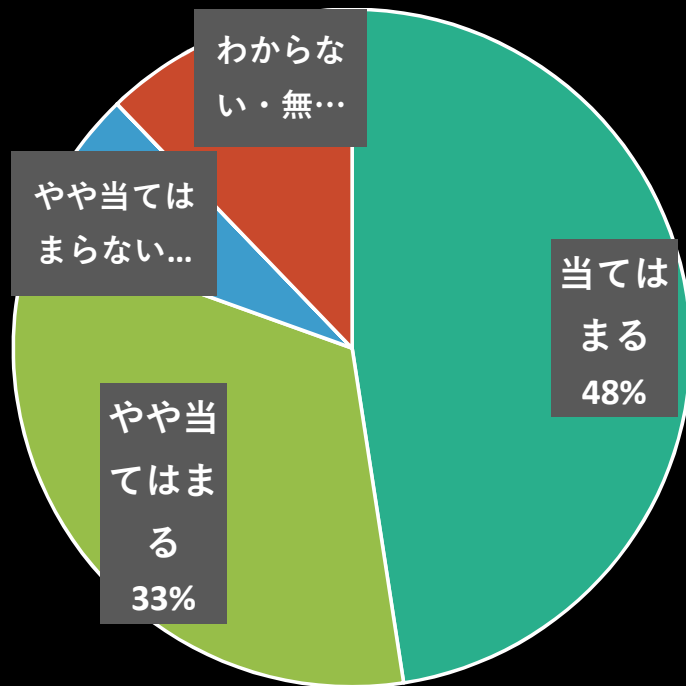
抵抗なくお客様に声か
けができる
長い文章まとめ

色んなことを考えながら
物事に取り組む
コミュ力

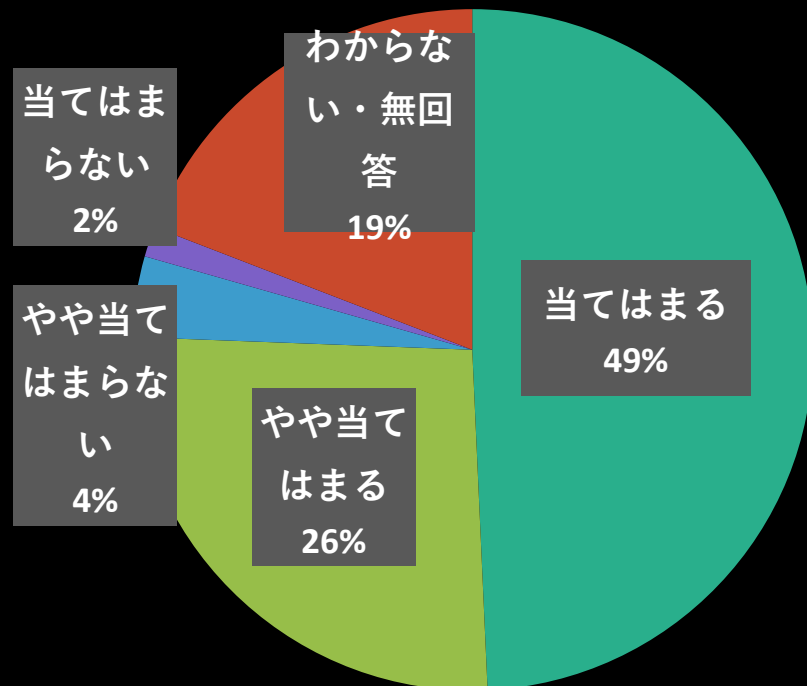
山崎製パン
鎌田陽菜さん

保護者アンケート調査 (R2.11.30)

学校外との取り組みは有意義である



家政科保護者(82名)



商業・工業・海洋保護者(209名)



8. 成果と今後の課題



館総SPH3年間の学
び

1年

各学科の基本的な
知識・技術を身に
つける

地域について知る

他者理解・コミュ
ニケーション力の
向上

2年

学んだ知識・技
術を深めて活用
する

自分と地域や社
会の課題を見つ
ける

3年

深めた学びを
発信する

自分と地域や社
会の課題を解決
するために他者
と協働して行動
をおこす

館山総合高校
SPH プログラム

行動
まちカフェで
販売 発信

探究活動
計画 → 実行 → 評価
改善
課題発見

評価
ループバック
学びの足跡

身につけた
知識・技術
～協働型双方向型学習

改善

課題発見



探究活動

計画 → 実行 → 評価

改善

課題発見

身につけた
知識・技術
～協働型双方
向型学習

改善

課題発見

自走するための
寄り添い・言葉かけ(コーチング)

地域共創人材の育成

- 地域に出る、社会の課題を見せる

⇒ 「どうにかしたい！」 という **使命感**

が生徒に芽生える

→ **学びに主体的**になる

地域共創人材の育成

まちカフェは

交流の場

探究活動・発表の場

課題発見・気づきの場

地域共創人材の育成

生徒も教員・地域人**etc**も

⇒**探究活動**

協働学習 対話

が必要

今後は...

学びを深めて視野を広げる教育を

- 探究活動を主軸に学校づくり
- 学科融合・教科融合を充実させる
- 「まちカフェ」
まず発信の場として全学科で
活用

今後は...

- どのような生徒を育てたいか・・・

教員が協働で言語化

作る過程
が大事



ありがとうございました

